

議会だより

2023.1.27

No. 196



山梨県昭和町議会

<https://www.town.showa.yamanashi.jp/site/gikai/>

しょうわ



表紙写真

どんど焼きで
ドンドン開運

●表題(しょうわ)については「常永小学校 6年3組 矢野 梨々香(やのりか)さん」の直筆です。

地域の声をきかせてほしい!

② 区長との意見交換会

④ 町民の声を行政へ
町長へ提言書提出

⑦ 一般質問 ここが聞きたい

⑩ 井戸端会議
地域住民と議員の対話集会

地域の声をきかせてほしい! 区長との意見交換会

各区で抱える問題を協議

令和4年11月11日(金)、昭和町議会は各区長と意見交換会を開催しました。

各区の区長からはごみ収集小屋や防犯カメラ設置への補助金、児童虐待に対する体制など、様々な意見が出され、活発な意見交換が行われました。その一部をご紹介します。



議論

1 ごみ収集小屋について

区長からの意見・要望

- 設置基準の作成を町に要望してあるが、まだ回答がない*。
現在、昭和町は小規模開発が進んだことによって住宅が増加しており、今後、ごみ収集小屋の問題は増えると思うので、議会からも町の考えを聞いてほしい。
*意見交換会直後の区長会にて回答があった



議会の回答

- ごみ収集小屋の補修等、住民生活に直結するような事案は、財源の問題はあるが優先順位をつけ、迅速に対応するように当局に促していきたい。



議論

2 防犯カメラについて

区長からの意見・要望

- 危険箇所等を町で調査して、区と協議してほしい。設置費用は区でも半分くらいは負担するので、議会でも町に対し質問してほしい。
- 防犯カメラを設置した場合、防犯カメラに写っている画像は誰が確認するのか。警察なのか役場担当課なのかを聞きたい。
- 防犯カメラの設置は犯罪の抑止にもつながり、安全な町づくりのため必要であるので、是非早急な予算化をお願いしたい。



議会の回答

- 防犯カメラの設置箇所については、区が危険箇所等の情報を把握し、行政に防犯カメラ設置の予算計上を進言してもらいたい。
- 町長の一般質問の答弁の中でも、危険箇所の防犯カメラ設置については、各区で要望があれば設置する旨の回答があったので、要望を出していただきたい。



その他の意見・要望

- 各地区の交通安全協会の活動人員数は。
- 投票率向上のために投票所のBGM等を工夫しては。
- 公共施設のあり方検討会ではどのような意見が出たのか。
- 児童虐待について、町ではどのような体制をとっているのか。

町民の声を行政へ

町長へ提言書提出

昭和町議会は、令和4年12月定例会の初日の全員協議会において、町長に対し、提言書を提出しました。

塩澤町長

ご提言いただいた内容につきましては、庁内で十分な議論を重ね、多くの町民の皆様が「住みよさ」を実感できるよう、意見集約し、早期に方針を示せるよう全力で取り組みます。



石原議長

今年3回目となる政策提言では、現在協議中、あるいは検討中の事項を含め、新たな事項について、今後を見据えた行財政運営に反映できるよう努められたい。

提言書の内容

防災対策

- ① 太陽光等再生エネルギーの研究の推進・活用
- ② 家庭用蓄電池や防災発電機の購入補助、各自主防災組織への電源確保の補助、及び洪水ハザードマップの早期見直し

組織体制の強化

- ① 再任用職員の雇用も含めた昭和町職員定数条例の見直しと行政組織の再編・拡充

環境整備の充実

- ① 公共施設再編計画の早期作成と事業推進についての具体策提示
- ② 各地区の防犯カメラ設置補助の検討
- ③ 町議会のホームページ上での動画配信、及び庁舎内へのモニター設置と町議会のライブ配信

医療福祉支援

- ① 子どもに対するワクチン接種等、継続的な感染対策の実施
- ② デマンド型乗合タクシーの予算化

地域経済活性化

- ① 特産品や名産品などによるまちおこしの検討

経済的支援

- ① 物価高騰に対する経済的援助の継続
- ② 商工業者及び農業者への支援の実施
- ③ 物価高騰に対する高齢者への補助と対策

予算編成

- ① 実施計画書の見直しと提出時期の厳守、及び実施計画に基づく予算編成の確立
- ② 危険箇所対策、洪水対策、交通安全対策、防犯対策、用地寄附に伴う道路拡幅等の要望に対する積極的な予算化
- ③ 新年度主要事業の予算概要の事前説明実施

12月定例会で決まったこと

詳細は2月末更新予定のHPの会議録をご覧ください

※石原高明議員は議長のため、採決には加わっていません。

案件名	審議結果
専決処分の承認を求める件(令和4年度昭和町一般会計補正予算)(2案件)	承認
議会の議決に付すべき財産の取得	可決
●昭和町職員の定年等に関する条例中改正 ●地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定 ●昭和町国民健康保険条例中改正 ●固定資産評価補助員設置条例を廃止する条例制定	可決
令和4年度昭和町一般会計及び特別会計(国保・介護保険・下水道・湯水対策)補正予算	可決
甲府市とのやまなし県央連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議	可決
人権擁護委員候補者の推薦(飯喰区/佐野 晶子氏(再任))	適任
昭和町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例制定	可決

令和4年12月定例会は、12月1日から12月9日まで9日間の会期で開催しました。承認関係2案件、条例関係4案件、令和4年度一般会計及び特別会計補正予算関係5案件、諮問関係1案件、委提1案件、その他2案件の計15案件を審議しました。

12月定例会委員会質疑

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

水源対策特別委員会

耕作者への対応は

海野委員 田畑の耕作をしている町民から、今年は水路に水が流れておらず困っているとの話を聞くが対応策は。

環境経済課長 今年は釜無川の水量が例年より少なく、その影響によるものと思われる。上流域である甲斐市にも取水調整についてお願いしている。また、コンサルタント会社に依頼して合理的な配水について調査をしているので今後対応していきたい。

産業厚生常任委員会

修繕への迅速な対応を

長田委員 ある地区ではごみ収集小屋の修繕に対する補助金の申請を町にしたところ、予算がないので新年度まで待つようにな言われたそう。軽微な修繕は補正予算で対応すべきと思うがどうか

環境経済課長 申請のタイミングにもよるが、ここ2年ほどは予算を補正で増額し対応している。昨年末には、今年度の修繕の予定を各区に聞いたが、要望がなかったため例年通りの予算を計上した。今年度についても修繕費は増額となったため、来年度も予算を増額して要求したい。

下水道整備の進捗は

小林議員 常永駅南側の下水道整備の進捗よく状況は。

下水道課長 当該区域は線路を下水道が横断できないため、中央市の下水道へ流す必要があることから、中央市との協議や議会の承認、処理分区の変更等を進めている。

今年度から中央市と協議をしているが、昭和町分の汚水量は処理可能との回答をもらっており、現在、利用する中央市の既存施設等に対する負担金について協議中である。

今後は令和7年度に実施設計、令和8～9年度に管渠工事をする予定だが、1年でも早く事業着手できるように努力していく。

パートナーシップ制度とは

河田委員 パートナーシップ制度の内容と町への相談状況は。

町民窓口課長 パートナーシップ制度とは、性的少数者である二人が互いを人生のパートナーとして協力し合うことを誓い、パートナーシップ宣誓書などを自治体に提出し自治体が受領書などを交付する制度であるが、法的拘束力はない。

令和4年6月1日現在、全国1700以上ある市区町村のうち200

ワクチン接種終了時期は

程の市区町村が制度を制定している。県内では昨年甲州市が制定しており、市営住宅の入居などが可能とのこと。

また、これまで本町への相談は来ていない。

河住議員

新型コロナウイルスの接種期間を令和5年3月末までとしており、町の集団接種は1月まで、個別接種は3月までには終了する予定。

最後まで希望者に対応できるように、コールセンターも3月まで継続するが、今後の国の動向によっては変更もありうる。



水のない水路と畑



パートナーシップ制度

施策を問う // ここが聞きたい //

※質問・答弁はスペースの都合上、要約されています。

一般質問の内容は議会事務局及び2月末更新のHP会議録からも閲覧できます ▶▶▶



地方分権対策特別委員会

昭和町へのメリットは

河住委員 ※連携中枢都市圏構想に昭和町が参加するメリットは。

総務課長 消費者センターの共同利用など、積極的に話し合いを進めていきたいと考えている。

また、救急医療体制の連携や子ども・子育てへの支援、在宅医療・介護なども連携することで本町にプラスになると思われる。

※連携中枢都市圏構想とは

甲府市を中心都市として、昭和町、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、北杜市、山梨市、甲州市、中央市の9市1町が連携し、互いの強みを活かして、弱みを補いながら地域経済を活性化させていく構想

総務教育常任委員会

小学校の自由な選択は

海野議員 他の自治体では校区に縛られず小学校を自由に選択できるところがあるが、本町でも柔軟に考えてはどうか。

学校教育課長 本町で校区の再編を行った場合、児童が多い学校から少ない学校に児童を振り分けることにより、校舎の増築が必要なくなることや通学時間が短くなることなどがメリットとして考えられる。

一方、育成会や子どもクラブの活動が分断される



登校する小学生

ことなどがデメリットとなる。校区の再編は、難しい問題であり、地区や保護者の声を聞きながら学校や地区が混乱しないよう時間をかけて話し合っていく。

職員定数の見直しは

石原(高)委員 令和5年4月1日施行の条例改正により職員の定数が段階的に65歳まで引き上げられるとのことだが、職員定数条例に規定される定数を超えてしまわないか。また、令和5年4月時点での職員定数条例の見直しは行わないのか。

総務課長 令和5年4月1日では職員定数条例の範囲内で収まるが、いずれ足りなくなる。

来年度は適正化計画を見直す年であるため、それに合わせて定数を増

やすのか、前倒しして今年度中に増やすのかを検討する。

今後の押小プール授業は

葉袋委員 今年度、押小のプール授業を民間委託したが、今後プールの授業はどうするのか。

教育長 今年度、実験的試行的に民間のプールを活用して委託授業を行った。学校から委託授業は十分可能であるとの検証結果の報告を受けている。来年度は委託せず、通常形でやっていく。

防災計画作成マニュアルを

河田議員 地区防災計画を区で作りとやすくするためにも、作成マニュアルを示してはどうか。

企画財政課長 確かにマニュアルなどがなければ難しいと思うので、区長会で

示せるよう準備する。

事故多発箇所への対応は

石原(政)議員 常永駅南側の農道では交通事故が多発しており、上河東区では警察に対応を求めているようだが、担当課は把握しているのか。

企画財政課長 常永駅の南側で事故が多発しているという話は聞いている。再度、状況を警察に確認し対応する。



事故多発箇所

Q 町総合計画をはじめ諸計画の進捗状況は？

A とりまとめ次第、報告する

小林

昭和町総合計画の策定と運用に関する条例には、各分野の基本的計画は各計画との関係を明確にするとともに制定改正を行い、主要な計画は1年ごとに進捗よく状況を報告すると規定されている。

そこで総合計画を最上位とする諸計画等の体系や進捗よく状況に関する報告をどのようにするのか。

また、第5次行財政改革策定後の進捗よく状況について、さらに第1期まち・ひと・しごと総合戦略の成果について伺いたい。

町長

諸計画等の体系図や、進捗よく状況に関する報告については、本町では総合計画を柱に総務・福祉・産業・教育等の主要計画があり、それぞれの計画に基づき事業の実施を行っている。体系については明確になつており、各計画の進捗よく状況をとりまとめ次第、報告する。

第5次行財政改革大綱策定後の進捗よく状況については現在、昨年度策定した行財政改革大綱に基づき、各種事業の課題の洗い出しをしている。

事業の必要性、妥当性などを考慮し、洗い出し作業を慎重に行い、実施計画の作成をできるだけ早く進めていく。

第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少に歯止めをかけ、地域活力の維持と向上を図ることを大きな目標に掲げた計画である。

初年度を平成27年としたこの計画も、令和2年度に

新たに第2期計画を策定し、現在に至っている。

人口減少社会の中、本町の人口が増え続け、第1期の計画では、「出生率」や「子育て世帯の満足度」、「教育施策や保育施策に関する満足度」等の多くの項目において目標を達成していることは大変喜ばしいことだ。

私も町長就任後、人口減少・少子化対策として子育てしやすい環境整備に力を注ぎ、子育て世代包括支援センターの設置や機構改革により子育て支援課の設置、子育て支援医療費助成制度を18歳まで年齢を拡大する等の施策を実施してきた。

また、ほたる学舎の開校、GIGAスクールへの対応や小中学校の増築等、教育環境の充実を図ってきた。

これからも本町の未来を担う子供たちが健やかに育ち、昭和町に住んでよかったと思っただけのまっすぐりに誠心誠意取り組んでいく。



山伏川の桜と富士山

(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

Q 土地開発基金の整理、廃止の考えはあるか？

A 公共施設再編計画の進ちよく状況等を見極めたうえで廃止を考えていく。



うみの 豊 議員

海野 土地開発基金は、道路・河川・学校などの公共事業の利用予定の土地を事業の正式な着手に先行して取得することを目的に設けられている。毎年地価が高騰している時代には、公共用地の取得が難しく、この基金はまちづくりには大きな役割を果たしてきた。しかし、これまで26年間もこの基金を利用してきている様子が見受けられず、今でもこの基金が必要なのか。現下の情勢を踏まえてこの基金を廃止するなどの理由

に期待しているところである。一方、来町者が増加したことにより周辺道路の交通量も大幅に増えており、週末には混雑が見られるなど生活環境への影響も懸念されている。現在、県道甲斐中央線の旧道、旧道区間のうち、歩道未整備区間は路肩がないなど道路幅員も狭く、地域住民や道路利用者にとって改善が必要な道路であった。そこで町としても以前より歩道設置等の要望を県に行ってきたところ、山梨県が事業主体となり令和3年度より歩道設置事業が事業化された。これまでに路線測量と道路詳細設計が行われ、今年度は用地測量と物件調査を進め、令和5年度から個別に用地補償交渉を進めて行く予定と聞いている。県からは歩道未整備箇所の危険な状況について、早急な改善が必要であるとのことから積極的に事業推進にあたりと聞いている。町としても県と連携する

で整理、廃止する自治体も多くみられる。公共施設整備事業基金に振り替えてもよいし、地方債の繰り上げ償還などに充ててもよいと考えるが、町はどう考えているのか。

町長 本町の土地開発基金については、昭和45年に昭和町土地開発基金条例を設置し、基金の額は2億円以内と定められており、現在高は1億8170万6千円となっている。土地開発基金の目的は、公用もしくは公共に供する土地、または公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図ることとしており、背景としては、高度経済成長下における著しい地価の高騰を考慮した、国による公共用地の先行取得の推進があった。本町での土地開発基金を活用しての用地の先行取得については、直近では平成8年の紙漣阿原区公会堂用

昭和町の基金(貯金)の一部 (単位:千円)	
一般財政調整基金	1,411,136
公共施設整備等事業基金	1,585,361
減債基金	92,928
校舎建設基金	564,073
都市計画街路建設基金	8,952
土地開発基金	181,706

令和4年11月末現在

地、それ以前は平成5年に河西区公会堂用地、飯喰区集会場駐車場用地で基金を活用しているが、現在は土地開発基金で保有する土地はない。地価の下落により用地の先行取得のメリットが薄れていることは事実であり、土地開発基金を廃止する自治体も増えている。今後、公共施設の整備に多額の費用を要することもあり、また長年に渡り土地開発基金の活用をしていない本町の現状をかんがみると、当該基金を廃止することを考えていく必要はあると思う。しかし今後、公共施設再編計画のほか諸計画の検討を進めるにあたり、新たに用地を取得する必要が生じることとも考えられる。新たな用地の取得については現在のところ、補助金をはじめとした特定財源が見込めず、財源の確保が大きな課題となる。こういった状況を踏まえ、現時点において基金の廃止を行うのではなく、基

Q 県道甲斐中央線旧道の歩道設置の整備状況は？

A 現在進行しており、県と連携し早期完了に努める



かねまる とみかず 議員

金丸 県道甲斐中央線の旧道、県道玉川団地入口交差点から南側へ400mの築地新居地内の区間には、歩道もないうえに路肩もなく幅員も狭いため、地元では歩道設置の要望を行ってきた。

町長 平成23年に常永地区へ大型商業施設が進出したことに伴い、県内外から来町者が飛躍的に増加しており、さらなる地域経済の活性化

に期待しているところである。一方、来町者が増加したことにより周辺道路の交通量も大幅に増えており、週末には混雑が見られるなど生活環境への影響も懸念されている。現在、県道甲斐中央線の旧道区間のうち、歩道未整備区間は路肩がないなど道路幅員も狭く、地域住民や道路利用者にとって改善が必要な道路であった。そこで町としても以前より歩道設置等の要望を県に行ってきたところ、山梨県が事業主体となり令和3年度より歩道設置事業が事業化された。これまでに路線測量と道路詳細設計が行われ、今年度は用地測量と物件調査を進め、令和5年度から個別に用地補償交渉を進めて行く予定と聞いている。県からは歩道未整備箇所の危険な状況について、早急な改善が必要であるとのことから積極的に事業推進にあたりと聞いている。町としても県と連携する



築地新居地内

中、用地補償交渉への同行や、地権者の立場になり事業主体との橋渡しなど緊密に関わりを持ち、信頼の醸成に繋がるよう努め、早期の事業完了に寄与したいと考えている。

Q 今後の高齢者のいきがづくりの施策は？

A 支持を得ているこれまでの施策の維持、継続に取り組む



たなか ひろよし 田中 博愛 議員

田中
昭和町の65歳以上の人口は、令和4年8月現在で4000人を超え、高齢化率は19.4%となっている。県内の他市町村と比べると低い数値ではあるが、高齢者人口はこれからも増えていく方向だ。町では総合会館の運営やいきがいクラブ、ふれあいサロン、百歳体操、おたっしや出前講座などを行い、介護保険事業等さまざまな福祉政策を行ってきた。令和4年度には65歳以上に向けて昭和町3活プレミアム付き商品券の配布も行った。

新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでの生活や活動が制約されるなど、高齢者の皆様から楽しむ機会が減ってしまったという声も聞いている中で、あらためてこれまでの施策が、高齢者の皆様のいきがづくりにつながっていたと痛感している。引き続き、高齢者福祉の後退がないよう維持、継続



おたっしや出前講座

Q 子育て支援の体制強化を！

A 体制強化も図りながら子育て施策を推進していく



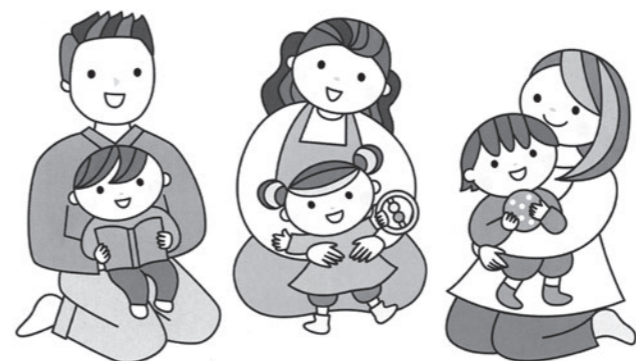
かみすま やすしげ 河住 保茂 議員

河住
令和元年の厚生労働省の調査によると、日本の子どもはおよそ7人に1人、13.5%が貧困状態にあるという。これは一時的な給付金で解決できる問題ではなく、このような子育て環境を放置すれば、将来的にもそこから抜け出せず、負の連鎖が起これると思われる。そこで「第2期昭和町子ども・子育て支援事業計画」の進捗よく状況、体制の整備、また、子どもを安心して生み育てるための政策について伺いたい。

町長
「第2期昭和町子ども・子育て支援事業計画」の進捗よく状況については、主なものとして3歳未満児の保育ニーズに応えるため小規模保育事業者を公募し、小規模保育所を認可して対応した。引き続き町内各教育・保育施設の利用定員の維持に努めていく。次に子どもを安心して産み育てるための政策については、妊産婦健診や乳幼児健診などの母子保健事業の充実に加え、令和元年度には妊娠初期から子育て期に渡る切れ目ない支援のワンストップ拠点として「子育て世代包括支援センター」を立ち上げた。また、子育て世代への経済的な支援として、従前からの保育料の引き下げや、子育て支援医療費の対象年齢を18歳まで拡大し、ひとり親家庭についても、18歳までの児童生徒と保護者の医療費の無償化を行っている。給食費についても、3人以上の小中学生がいる家

庭には3人目以降の給食費を無償化する制度や、保護者の負担軽減を図るため、給食費の一部を公費で補助している。さらにどんな環境の子どもも等しく教育を受けることができるよう「ほたる学舎」を開校し、本町の全ての子どもが安心して成長できる環境を整えてきている。子育て支援を行う体制整備の面では、令和2年11月に子育て支援課を新設し、保育所やこども園に関すること、児童虐待やひとり親家庭の不安を取り除くために担当を配置して、各種相談に対応している。また、児童福祉法の改正により「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の機能を併せ持つ「こども家庭センター」が必要となったため、設置に向けて準備を進めている。

引き続き「第2期昭和町子ども・子育て支援事業計画」に沿って事業を進めるとともに、時代の変化に合



再質問
「こども家庭センター」はいつごろでき、どのような内容になるのか。
子育て支援課長
すべての妊産婦、子育て世代、子どもへ一体的に相談支援を行う機関となる。来年度から準備を始めたと考えている。

わけて子ども子育て施策を推進していく。

Q 新庁舎の建設はあり得るのか？

A より良い再編方法を検討し
方針を決めたい



ほり もんた 堀 門太 議員

堀 本町が何年も前から検討している公共施設のあり方について、過日、住民説明会が行われた。私も参加させてもらい、住民の皆様から多様な意見をいただいた。その中で「一点在する各施設を長寿命化で維持するよりも、庁舎を含め新たな複合施設を建設してはどうか」という声も聞かされた。町長の考えを伺いたい。基本は、長寿命化計画とのことだが、どうせ中央公民館を建て替えるのだから、他の施設も併設して複合施設としてはどうか。

町長 本町では老朽化した公共施設の再編にむけた検討を行い、今年の8月には3日間にわたり、地域交流センターにて「公共施設のあり方検討会」を開催した。議会の皆様をはじめ町民の皆様にご参加いただき、町の公共施設再編の考え方を説明し、ご意見を頂戴した。また説明会資料を全戸配布すると同時に、ホームページにおいてもパブリックコメントを実施し、多くの意見をいただき、その中には新たな庁舎の建設を求める意見もあった。あり方検討会の際には、公共施設の建築・改修において多額の費用がかかるこ



中央公民館

とから、厳しい財政状況の折、経費を最小限に抑えるため、施設の長寿命化を図る方を町の考え方として示した。今後は多様な意見がある中で、どのような方法が施設の利便性の向上を図り、財政的にも効率のよい再編方法となるのかを検討しながら、方針を決めたいと考えている。

Q 感震ブレーカーの周知と購入補助を！

A 周知、啓発を図り、
補助制度の設計を進めていく



かわだ あけみ 河田 あけみ 議員

河田 大規模地震が発生すると停電が想定され、その後の復旧により通電火災も心配される。町内では木造建築も多く、開発等により新しい住宅も広がっている。住民の命や財産を守るため、火災が広範囲にならないためにも通電火災の防止策を講じておくべきだと考える。そこで住民へ感震ブレーカーを周知し、購入補助制度を導入してはどうか。

町長 28年前に起きた阪神淡路

大震災において、火災が広範囲に渡った現場の映像は衝撃的だった。地震発生時には、同時に多くの火災が発生する可能性があり、時間、季節、風向きによっては、延焼の拡大が起きるとされている。昭和町地域防災計画では震災を教訓とし、こうした多発、多様な火災を想定し「災害予防計画」の「出火予防対策の推進」において、住宅用火災警報器及び感震ブレーカーの設置を各家庭に周知するとしている。感震ブレーカー設置の周知と啓発については、令和3年4月に全戸配布した「昭和町防災マニュアル」の中でお知らせしている。また女性防災ネット昭和の皆様が毎月、広報昭和に防災一口メモを掲載しており、11月号においては「災害時には怖い通電火災」として感震ブレーカーの設置を推奨している。町としては今後も引き続き、防災マニュアルのPRや広報誌などを活用して、感震ブレーカー設置の周

知、啓発を図る。また、感震ブレーカー購入補助制度については、各家庭に設置することで通電火災、延焼火災の防止につながり、火災による被害を軽減することができると考えている。今後、本町の住宅事情や、電気が強制的に止まることの影響などを調査、検証し、制度設計を進めていく。

ご存じですか？ 地震による火災の過半数は 電気が原因という事実。



再質問 防災訓練の時に感震ブレーカーを見せながらPRしてほしい。
企画財政課長 防災訓練の際に町民の皆様を示して機器を認識してもらうことを検討していきたい。

Q

道路等損傷通報システムの導入を!

A

導入について調査、検討していきたい



おさだ のぶお
長田 信夫 議員

道路における事故で、その原因が道路管理者の管理に欠点があった場合、その程度に応じて道路管理者が賠償の責任を負うことになる。
道路の損傷を速やかに補修することを目的とした「道路等損傷通報システム」の運用を開始している自治体もあり、道路損傷等の素早い把握により、事故の防止と迅速な対応につなげることができると見られる。
安全安心な町づくりのため「道路等損傷通報システム」の導入をすべきだと思いが、町長の考えを伺いたい。

町長

本町では道路の効用、機能を保持し、利用者への利便性と安全性向上を図るため、道路や橋梁などの維持、修繕や改良などを行っている。

町長

また、道路は交通機能のほか、町づくりの基盤、防災や公益施設を収容する空間機能など、多様な役割を担っており、生活に欠くことのできない公共施設であることから、これらの機能を良好な状態に保つことを目的に日頃から維持管理を

行っている。これまでも道路の損傷等については、町民の皆様や道路利用者からの通報による対処や、平成10年から田富郵便局と連携する中で情報提供を受けるなど、早期の状況把握に努めてきた。

また、職員が現場等へ出向く際など道路パトロールを兼ね、迅速に対処してきた。
引き続き早期の情報収集に努めるとともに、道路等損傷通報システムの導入について調査、検討していく。



マンホール付近の段差



破損した路肩

Q

(仮称)西条二区公園整備の進ちょく状況は?

A

緑の基本計画に沿って検討していく



いしはら まさのぶ
石原 政信 議員

昭和町緑の基本計画では4つの基本方針を定めており、その基本方針にのっとり具体的な施策として(仮称)西条二区公園の整備の推進が示されている。その進ちょく状況について伺いたい。

町長

(仮称)西条二区公園及び西条二区公会堂の整備に関しては、地区の皆様からの要望が以前からあることは承知している。
ご意見等を聞きながら、子育て、健康づくり、高齢



(仮称)西条二区公園建設予定地

教育長

教育委員会では教職員の働き方改革の一つとして、平成30年度より県の「部活動指導員任用事業」制度を活用し、現在4つの部活動に外部指導員を導入しているのか。
「運動部活動の地域移行」は町長が掲げる4つの柱のうち「教育活動の充実」の重要な課題のひとつだと思いが、どのように進めていくのか。

石原

国では教職員の働き方改革の実現と運動部活動の円滑な運営を図ることを目的に、公立中学校の休日の部活動指導を地域のスポーツクラブや民間事業者にゆだねる「運動部活動の地域移行」に向けた議論が交わされ、提言の概要が示された。
「運動部活動の地域移行」は町長が掲げる4つの柱のうち「教育活動の充実」の重要な課題のひとつだと思いが、どのように進めていくのか。

一般質問

Q

中学校の運動部活動の地域移行の推進を!

A

円滑な地域移行に向けて取り組んでいく

また本年6月にスポーツ庁が発表した「運動部活動の地域移行に関する検討会 提言の概要」を受け、8月に町教育委員会、押原中学校、PTA役員、昭和総合型地域スポーツクラブ「キャメリア」等で組織する「昭和町部活動地域移行に向けた検討会」を県下へ先駆けて立上げ、具体的な検討に入ったところだ。
多くの課題はあるが、教職員の働き方改革を踏まえるとともに、中学生が今以上に楽しく安心して部活動に集中でき、充実した学校生活を送れるよう、昭和町の特徴を生かした「運動部活動の円滑な地域移行」に向け取り組んでいく。

一般質問

西条新田区

●第2回 ●出席者:区民5名(役員のみ) ●参加議員:4名
●開催日:11月12日(土) ●場所:区公会堂



おもな意見・要望と議会の対応

Q 西条新田区公会堂に設置してあるごみ出し用監視カメラが機能しなくなったので、新たに購入した。多額の費用がかかったため、町に相談をしたが補助制度はないとのことなので、制度を作ってもらえないか。

A 区長との意見交換会でも話したが、現在の交付要綱では補助金を出せない。しかし、防犯・監視カメラは安全安心な町づくりに繋がるので、町に訴えていきたい。

Q 組や区に未加入の区民はごみ収集小屋を使用できないのか。

A また、ごみ収集小屋の整備は全額町負担でもいいのではと思うが、何を基準に補助金を出しているのか。

A 組や区に未加入の方も町に納税していると考ええると使用を規制できない。

補助金交付要綱があり、ごみ収集小屋の整備費用は町と区の折半となっているが、補助率について、要望を町に伝える。

Q 昨年の井戸端会議の結果はどうだったのか。

A 議員の報酬見直しについては特別職報酬等審議会が令和4年12月に開催されることになっている。

投票所については、知事選から常永地区の投票所が上河東区公会堂から常永小学校に変更になる予定。他の場所について変更はない。

地域住民と議員の対話集会 井戸端会議

紙面の都合上、一部のご意見の概要のみを掲載させていただきます。



上河東区

●第3回 ●出席者:区民22名 ●参加議員:5名
●開催日:11月19日(土) ●場所:区公会堂



おもな意見・要望と議会の対応

Q 本町の防災マニュアルには災害時の安否確認と被害状況調査が詳細に策定されていない。

A 各地区で地区防災計画を作るよう、国から指針が示されている。地区ごとに状況が違うので一律に示すのは難しいと思うが、作成マニュアルを作るよう当局に伝える。

Q 常永駅南側の下水道整備が昭和町のなかで最後となっていることについて住民から行政に対し、

不平不満の声があがっている。町の担当課からは費用対効果が低いから最後となったとの説明であったが、住民からすれば到底納得できるものではない。

A 以前、担当課に聞いた話では、下水道は都市計画事業であり、市街化調整区域よりも市街化区域が優先される。また、身延線を挟み北側と南側では下水道の処理分区が変わり、南側は中央市の下水道に接続するしかない。さらに接続先の中央市の地域も市街化調整区域であるため、これらの条件が重なってしまい、なかなか接続できないでいるとのことだった。再度、担当課に確認する。

Q 常永駅南側の農道で事故が多発しているのでなんとかしてほしい。

A 要望がある場合、地区の交通安全協会役員が専用の用紙に記入し、企画財政課へ要望書を提出することになっている。町にも話をする。

西条二区

●第1回 ●出席者:区民23名 ●参加議員:4名
●開催日:11月1日(火) ●場所:区公会堂



おもな意見・要望と議会の対応

Q 議員報酬の進捗よく状況と結論はいつになるのか。

A 令和4年6月10日に町長に対して昭和町特別職報酬等審議会の開催、及び議員報酬の検討を行う事を盛り込んだ要請書を提出した。

12月に昭和町特別職報酬等審議会が開催される予定なので、今後見守っていく。総合的に判断して、適正な議員報酬が決定されると思う。

Q 蓄電池・家庭用発電機など

の導入補助をしてほしい。
A 女性防災ネット昭和によると、町の避難所と備蓄品の数は、全町民の約1割分とのこと。災害時には町職員等も被災者となるので、自助が重要になる。
町では、各地区に発電機を1台ずつ配る計画をしているが、各家庭での電源の確保はとても大事である。

議会でも補助金導入について一般質問や提言を町に行っているが、再度、災害時の電源確保に取り組みように町に要請する。

Q 町道124号線(セブソイレブソ昭和西条南店南側)の進捗よく状況は。

A 用地買収はまだ数件残っているが、3年間をめどにすべての買収を終わらせる予定。測量、設計は完了しており、今後の進捗よく状況についてはその都度報告していく。

河東中島区

●第6回 ●出席者:区民23名 ●参加議員:5名
●開催日:12月18日(日) ●場所:区公会堂



おもな 意見・要望と議会の対応

Q 耐震基準を満たしていない中央公民館をこのまま投票所として使用するのはいかがですか。
数年前には新しい建物を建てるという話も出ていたが現状を教えてください。

A 現在、令和5年中に中央公民館に入っている教育委員会の移転先を決めるため、場所を検討中とのこと。移転が終わる次第、解体を始めていく予定です。

Q 今年の11月から自転車の交通ルールが厳しくなったが、い

まだにマナーの悪い人が目につく。
そこで、国母付近の昭和通りにあるような自転車専用通行帯を昭和町内にも設置する予定はないか。

A 町道での設置予定は今のところ聞いていない。
マナーについては、通学に自転車を使っている生徒たちには、決められた通学路をヘルメットを着けて通うよう、学校で指導している。

Q JA山梨みらいの交差点から身延線に向かう道路は朝夕の交通量が多く、スピードを出す車もあり、大変危険である。何か規制はできないか。

A 昭和・玉穂中央通り線が開通すれば交通量も減るのではないかと思う。
現状、規制するのは難しいと思うが当局に伝える。

押越区

●第4回 ●出席者:区民30名 ●参加議員:4名
●開催日:11月19日(土) ●場所:中央公民館講堂



おもな 意見・要望と議会の対応

Q 議員が使用している公用のタブレット端末の通信料はどうなっているのか。
A 通信料は定額プランで契約している。
タブレットは本会議場、委員会議室での利用が主で、それ以外は、各議員が私物の個人スマートフォンとも同期させており、主に私物のスマートフォンで利用している。

Q 鎌田川はごみが多いため網を設置するなどの対策をしてみ

てはどうか。
A 別の河川で過去にごみ取りスクリーンを設置したことがある。
しかし、ごみが多すぎて故障を繰り返す、修理費用があまりにも高額になったため、スクリーンを撤去した経緯がある。
費用を抑える簡易的な設備を当局と協議する。

Q 犯罪が増加傾向にある中で、各家庭に防犯カメラを配布し、設置依頼をしてみようか。
A カメラの購入費用を町で負担し、使用にあたっての電気代は各家庭で面倒をみるという提案だが、購入費用が大きいため、当局に相談してみたい。

令和4年度井戸端会議 今後のスケジュール

地区	月日(曜日)	時間
上河東二区	2月17日(金)	19:30~
西条一区	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため中止	
清水新居区		
築地新居区		
紙漣阿原区	未定	
河西区		



飯喰区

●第5回 ●出席者:区民21名 ●参加議員:3名
●開催日:11月28日(月) ●場所:区公会堂



おもな 意見・要望と議会の対応

Q 公共施設の見直しについて、赤字施設を閉鎖するのではなく、どうやって生まれ変わらせるかを考えてほしい。
A 8月に公共施設のあり方検討会が開催された。結果はまだ公表されていないが、わかり次第報告する。
公共施設は多くが同時期に建てられており、どこも老朽化している。これにより再編に当局は大変苦慮しているが、町民の利便性を考慮するよう要望して

いく。
Q 温水プールが近々閉鎖するという噂を聞いたがどうなのか。
A 温水プールは老朽化しており、改修には莫大な費用がかかると見込まれている。12月にはあり方検討会の報告があると思うので、議員として協議していく。

Q 現役消防団員は新たな団員の確保に苦労している。町で広報などをして、消防に対するイメージアップをしてみようか。
A 原因の一つとして、大会に向けた夜の訓練が挙げられるが、訓練回数を減らすよう要望している。
また、他の自治体では、女性団員の加入を行っているところもあるため、これらを踏まえ当局と協議していきたい。

テーマ

地域脱炭素のための 太陽光発電・小売電気事業の 要点と事業者及び 自治体の法的留意点

開催日 令和4年11月30日(水)
午後3時30分～午後5時00分

講師 山梨学院大学 法学部 **横山 丈太郎** 教授

内容 現在、世界では地球温暖化対策として、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギー(再エネ)の導入が注目されている。また、この再エネは地産地消することが地域経済活性化や災害時の電力供給等の面で重要とされている。



研修では自治体や地域企業との結びつきが強い「地域経営型・地産地消型」の再エネ導入が紹介され、利点や運営上の要点、条例整備、賠償問題などについて、他自治体の事例を学んだ。これをもとに本町での再エネの導入について、当局とも意見を交換していく。

テーマ

公共施設の再編について

開催日 令和4年12月15日(木)
午後1時30分～午後3時00分

講師 山梨学院大学 法学部 **外川 伸一** 講師

内容 本町を含め、全国の多くの自治体では、高度経済成長期に建てられた公共施設等が老朽化し、一斉に更新時期を迎えている。併せて、地方財政の状況が厳しさを増していることや、人口減少による公共施設の利用需要が減少していることから、これらを考慮した効果的・効率的な公共施設の再編が求められている。



研修では、本町の公共施設の管理計画等を確認しながら、施設の長寿命化や建て替え等について意見を交わした。今後、今回の研修の内容を参考に当局とも議論を重ねていく。

山梨学院大学 との研修会



テーマ

農業による緑の促進について

開催日 令和4年10月11日(火)
午後1時30分～午後3時00分

講師 山梨学院大学 法学部 **上條 醇** 教授

内容 現在、日本では管理が行き届いていない農地は増加傾向にあり、農地を保全していくためには、これからは住民による新しいコミュニティづくりが重要になってくる。



研修では、大学生による草刈りのボランティア活動や高齢になったみかん農家の収穫の手伝いなどの事例が紹介された。人口減少時代における農業への向き合い方について、今回の研修を参考に当局とも議論を交わしていきたい。

テーマ

予算・決算について

開催日 令和4年11月8日(火)
午後1時30分～午後3時00分

講師 山梨学院大学 法学部 **片田 興** 教授

内容 地方公共団体が予算を編成する際、最も重要なことは、来年度どこにいくらお金をかけるかを最初に決め、その支出を担保するために税制を整備していく「量出制入」という考え方である。



一方、決算の審査で重要なことは、補正予算等の状況を含め、予算が確実かつ問題なく執行されたか否かを監査し、次の予算編成へフィードバックすることである。

今回の研修で学んだ財政状況のポイントを今後の予算決算の審査に活かしていく。

かんさの部屋

私たちがしっかり見ました



監査委員とは
監査委員とは、地方自治法で設置が義務付けられており、自治体が行う事業において、お金が適正に使われているかを調査する機関です。
今回は、令和4年9月から11月に行われた例月現金出納検査(検査対象月は令和4年8月から10月)において、監査委員から昭和町の会計管理者(出納室長)へされた質疑の一部を掲載します。

例月現金出納検査

- 〔8月分〕**
委員…3活プレミアム付商品券の印刷時の立ち会いは。また、商品券の管理方法は。管理者…印刷時の立ち会いはしていない。管理方法等は次のとおり。
○ホログラム偽造防止シートを使用
○金額ごとに番号表を作成し照合
○目視で番号とびや落ちがないかの確認作業を2回実施
○最終確認で1冊ずつ重さを計測
○販売委託業者にて販売冊番号を確認
○月毎の販売冊数と、冊番号の実績報告の確認
○出納室の力付き書庫にて保管
委員…3活プレミアム付商品券の売り上げが既に収入率100%だが、今後入金はないのか。
管理者…調定額を収入額と同額で調定しているため100%となっているので今後も収入はある。
〔9月分〕
委員…町営住宅家賃収入調定のマイナス92190円は。管理者…8月までに退去した方と、新たに入居した方の家賃を差引した時の差額。家賃は入居世帯により異なるので端数が出る。
委員…国民健康保険特別会計の、基金繰入金金の約マイナス980万円とは。管理者…繰越金の確定による基金繰入金金の減額。決算後、確定したことに伴い減額補正している。
〔10月分〕
委員…予備費流用の10000万円の使いみちは。管理者…中学校の全国大会・関東大会出場や給食センターの電気釜故障による取り替え等であり、12月に予備費を増額補正する。
委員…子育て世帯等臨時特別支援事業補助金確定に伴う返還金の対象者は何人か。また、2回に分けている理由と金額に端数があるのはなぜか。
管理者…支給対象者は3653人。保護者の所得超過等により支給できない人は147人。当初、国から現金5万円、クーポン券5万円の2通りの歳入であり、返還金も2回に分けてある。金額の端数については事務費等の返還分と一緒にしているためである。

追跡 あの問題はどうなった?

議員の質問に、町当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追跡 選挙の投票率向上の取り組みを

問 選挙制度は民主主義の根幹であるが、その大切な選挙権を行使しない有権者が多数いる現状において、本町でも投票率の向上に向けて様々な啓発活動を実施しているが、取り組みは十分か。

答 選挙については、投票時間の延長・期日前投票の導入など順次選挙制度の改革が行われているにもかかわらず、全国的に投票率が低下している。昭和町選挙管理委員会では新成人へのパンフレットの配布や、小学校への出前講座等を開催している。投票率の向上は一朝一夕にはいかないが努力をしていく。

令和3年12月議会 堀 門太 議員



常永小学校体育館

こうなった 以前から場所がわかりにくいと言われていた常永地区の投票所(上河東区公会堂)を令和5年1月22日に行われた山梨県知事選挙から、常永小学校体育館に変更し、投票率の向上を図った。

議会クイズ

次の問いに教えてください。

地域の声をきくため、各地区の〇〇との意見交換会を開催

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。



No.195に 対する

こんなご意見をいただきました!

初めてちゃんと読ませていただきました。環境問題や町おこしなどについても知る事ができてとても良かったです。これからも情報発信していただき、活動について、私もですが、頑張っていけたらと思います。さらにより良い町になるようにと思っています!

メールにて(33歳・女性)

押原小の水泳授業で民間のプールを使ったと書いてありました。町の温水プール運営費に6152万円も計上しているのに、なぜ民間なのか。理由を知りたいです。民間のプールに使用料を税金から支払っていると思うのですが。

メールにて(63歳・女性)

いつも参考にさせていただいています。公共施設の問題など、町民の関心の高い話題については、継続して掲載いただければと思います。

メールにて(35歳・男性)

詳しく、解りやすく、読みやすいです。

メールにて(45歳・女性)

ご意見をいただいた方には個別に回答させていただいています。

字体は手書き風書体に変更してあります。

【応募方法】

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お願いいたします。

No.195のクイズの答え

報酬等

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2 昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛 FAX:055-275-0370 メール

gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》2月末日 消印有効



メールに移動

Table with 2 columns: Date (10月, 11月, 12月) and Event Name (山梨学院大学研修会, 三郡衛生組合議会定例会, etc.)

議会の動き(一部掲載)



昭和三十九年度の全日程表はこちら

「議会だより しょうわ」を 読んでみて

モニターさんからの意見集



昭和町議会では、議会モニターのみなさんに議会だよりに関するアンケートへご協力をいただいています。今回は、「議会だより しょうわ第195号」について、議会モニターのみなさんから頂いた貴重なご意見をいくつかご紹介させていただきます。

議会だよりしょうわNo.195について、こんな意見をいただきました。(一部掲載)

「令和3年度決算審査」について

- 令和3年度の歳出について、どのような項目にいくら使われているのかがカラーで説明されており、わかりやすく興味を引いた。 決算については町の広報でも報告されるので、ここまで紙面を使う必要はないと思う。

「一般質問」について

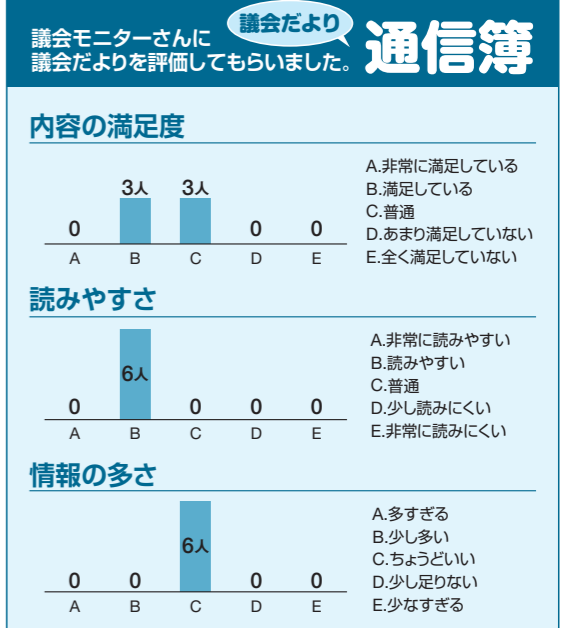
- 浸水表示板が電柱に表示されてきているが、町内には1.5mを超す浸水地区が多数あるので、避難場所は本当に安全かの見直しを議会も参加して行い、町民の安全が守られるよう検討してもらいたい。 一般質問の議員の写真と名前の表示がいいと思う。

「委員会質疑」について

- 各委員会の質疑内容が比較的身近な内容で興味を持った。

その他議会だより全般について

- 子どもの表紙写真も良いが、若い世代の女性が働いているところや活躍しているところの写真も良いと思う。



組合等議会報告

甲府地区広域行政事務組合議会 12月定例会
昭和町・甲府市・甲斐市・中央市の3市1町で構成
【主な事業】消防本部、消防署と国母工業団地にある国母公園管理事務所での公園管理事業
【令和3年度決算】
歳入総額:35億5811万円 歳出総額:34億7796万円
負担金総額:32億2768万円 昭和町負担額:2億7820万円

中巨摩地区広域事務組合議会 9月定例会
昭和町・甲斐市・中央市・南アルプス市・富士川町・市川三郷町の3市3町で構成
【主な事業】ごみ処理・し尿処理事業
【令和3年度決算】
歳入総額:17億6160万円 歳出総額:16億9040万円
負担金総額:14億392万円 昭和町負担額:1億6561万円

山梨県後期高齢者医療広域連合議会 令和4年第2回定例会
県下27市町村で構成
【主な事業】後期高齢者医療制度に関する事業
【令和3年度決算】
歳入総額:1094億103万円 歳出総額:1068億5538万円
負担金総額:5億2338万円 昭和町負担額:1124万円

山梨西部広域環境組合議会 令和4年第2回定例会
昭和町・韮崎市・南アルプス市・北杜市・甲斐市・中央市・早川町・身延町・南部町・富士川町・市川三郷町の5市6町で構成
【主な事業】峡北・中巨摩・峡南地域のごみ処理事業
建設予定地は中央市浅利地区
【令和3年度決算】
歳入総額:2億2520万円 歳出総額:1億9556万円
負担金総額:1億2886万円 昭和町負担額:814万円

三郡衛生組合議会 令和4年第2回定例会
昭和町・中央市・南アルプス市・富士川町・市川三郷町の2市3町で構成
【主な事業】葬祭場に関する事業
【令和3年度決算】
歳入総額:7億963万円 歳出総額:6億8474万円
分担金総額:4億6575万円 昭和町分担額:2652万円

これらの案件はすべて、認定となりました。
※ 数値は端数調整してあります。



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む皆様にご意見・ご感想を伺いました。



暮らしやすい町



築地新居区

やまだ
山田 陽次郎さん

私にとって昭和町は、幼少から中学一年まで過ごした馴染み深い町です。田畑が広がり閑かな景色の中過した事を思い出します。離れてから十六年が経ち、再び結婚を機に昭和町で新しい生活を始めました。通勤もしやすく、様々なお店や病院が充実していて、子育てする上でもとても優遇されていると感じます。

一軒家を建ててからは、地域の皆様に声をかけていただいたりと周囲の温かな環境での暮らしやすさを実感しています。

三十年前に比べて、町の変化には驚いていますが、これからも住みたい町であってほしいと思っています。

最後に、宅地も増え交通量も増している中、子ども達の通学路の安全面が気になっています。車道に近く歩道が狭かったり、死角になる危険箇所もあるので改善してほしいところです。

子ども達の成長とともに



押越区

とみた
富田 遼さん

長男を妊娠中、私たち夫婦の家づくりが始まりました。土地探し中、私の実家が近いことから候補にあがった昭和町。まず、子どもも大人のびのびとすごせそうな押原公園に好感を持ちました。産まれてくる子どもとこの公園で遊べることを想像するとワクワクする気持ちがありました。

私たち夫婦には仕事もあり、交通の利便性や子育て支援も重要な問題でした。我が家は新生児検診の頃から担当保健師さんに相談にのってもらって助けられています。はじめての子育てに心身ともに不安定になりやすいママ・パパの手助けになってくれる子育て支援・保育事業に感謝する日々です。

息子も娘も休日によくお散歩に行きたい！と言います。線路を走る身延線、川の鯉、ご近所のお野菜を見るのが大好きです。勿論押原公園で遊ぶのも大好きで、帰りがたがらず私たちに困らせてくれるほど。昭和町のまちづくりにも大人も子どもも自然と惹かれているのかなと思います。

編集後記

議会だよりでは、限られた紙面の中で、審議内容を議会報告としてお伝えしたり、各議員の委員会活動などもお伝えしています。

議会ではどのような議論を経て結論に至ったのかなど、議会だよりの役割の重要性を認識することも多くあります。

今後の議会だよりでも、読みやすく、短くてもわかりやすい議会だよりを発行してまいります。

広報編集常任委員 金丸 富一

広報編集常任委員会

委員長	長田 信夫
副委員長	石原 政信
委員	金丸 富一
	堀 門太
	小林 耐三
	海野 豊

議会を
傍聴
しませんか??



次回定例会は

3月6日(月)

開催予定です

【お問い合わせ】

☎275-8842(議会事務局)

